

学年	教科	教材
2年	美術科	美術2・3（日本文教出版） 美術資料（秀学社）・スケッチブック・鉛筆・アクリル絵具・色鉛筆

1・学習の目的

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現方法を創意工夫し、創造的に表す力をつける
- ・表現意図にあう多様な表現方法を工夫し、美しく表現する力をつけ、見方や感じ方を深める
- ・創造活動の喜びを味わい、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う

2・学習の方法

- ・授業の準備、片付けや提出物など、基本的な規律を守り、真剣に授業に取り組む
- ・真剣に作品と向き合い、自分が表したい表現を試行錯誤しながら見つけ、根気よく制作に取り組む
- ・自然や画家、友達が描いた作品からメッセージを読み取り、感じたことを根拠とともに自分の言葉で表現する
- ・授業のねらいや制作方法をしっかり押さえ、美術についての基礎知識を習得する

3・評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	【活動状況】【鑑賞ワークシート】【作品における感想】知識を活動に生かし、様々な表現に結びつけることができるかを評価する。【定期テスト】では用具の取り扱いや特製の理解、作品や製作方法についての知識理解の深さを判断する。
思考力・判断力・表現力	【制作の下絵（アイデアスケッチなど）】【途中作品や完成作品】【ワークシート】から自分らしいイメージを様々な角度から考えられているか、イメージを実現しようと創造的に構想を練ることができているかを評価する。【定期テスト】から、材料や用具の特性を理解しているか、主題に沿った表現ができていないかを評価する。
学びに向かう力・人間性	【毎時の振り返り用紙】から、学習に取り組む姿勢を評価する。【鑑賞ワークシート】【作品における感想】から、対象をしっかりと観察し、よさや美しさを感じ取り理解しているかを評価する。【定期テスト】では作品に対する基礎知識を踏まえて、作品を深く理解しているかを評価する。

4・年間授業計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	オリエンテーション 【鑑賞】最後の晚餐 ・遠近法	・遠近法の種類と効果を知る	・透視図や投影図を理解し、活用する技能を身につける ・構図や人物の描き方から登場人物の心情を読み取る
5	【鑑賞】オーギュスト・ロダ ン モダンテック モダンアート	・作者が作品に込めた感情を 読み取る	・作品の背景を知ることによって作品に対する見方や感じ方を広げる
6		・モダンテックの技法	・モダンテックの各技法の手順や表現の違いを学ぶ
7		・技法を生かした作品制作	・色と形と材料の楽しさを知り、作品を作る ・絵の具の面白さ、技を発明する面白さを見出す
9	【鑑賞】富嶽三十六景 浮世絵	・浮世絵から日本文化を知る ・構図や技法を制作に生かす	・美術文化の継承と創造について考え、鑑賞する ・浮世絵の作業工程を知る
10	【鑑賞】画家たちの自画像 一版多色刷り	・なぜ自画像表現をするのか 考える	・自分とは何であるか見つけ、存在証明に繋げる
11		・自画像を一版多色刷りで表 現する	・伝統工芸を知り、制作する作品のイメージを掴む ・限られた素材の大きさを生かし、色彩表現につなげる ・材料や道具の特性を理解し、安全に効果的に活用する ・作品の良さや美しさ、作者の思いを自分なりに感じ取る
12	【鑑賞】フィンセント・ファ ン・ゴッホ ジャポニスム	・ゴッホの作品や生涯を知る	・国境を超え、海外で評価され模倣された日本美術の面白さを知る ・画家の、作品に対する思いを考えながら、作品を鑑賞する ・感じたことや考えたことを言葉で表現し、意見交流する中で考えを深め る
1	埴輪作り	・自己の特徴を捉え、埴輪を 作る	・自分という存在証明を形にする
2			・自己の特徴や自身を表すものを見つめ直し、作品に想いを込める。 ・相互鑑賞を行うことで、自身の表現をより深いものにする
3	ゼンタングル	・ゼンタングルでしおり作り	・単純な模様を組み合わせて、オリジナルの模様を再構成する

※ 上記の内容は進度によって変更される場合があります